臺灣昌新報（夕刊）
（第二版）（原購郵證）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
昭和十二年九月二十五日（土曜日）
臺灣日日新報
第一万二千四百七十三號
（一）

財政と戰線

文官は俸給半減

兵卒は無給で飢に泣く

戰の犧牲者として

（上海二十三日發同盟）國民政府財政の窮乏は最早救ひ難く二十三日南京よりの確實な消息によれば各政府機關及び軍部職員に對する俸給の如き全國を通じて一律に平時の半額に減額し更に兵卒に對しては上將八十元、中將六十元、少將四十九元、上校三十元、中少校早、少尉に至るまで平均二十元に切詰めてゐる、兵卒に對しても從來月額七元至十二元の給與までも全部支給を停止し現に所屬部隊より食料を給するのみであるが政府は最期作戰でより以上財政を惡化させた責任、軍部首腦及び上級軍人に對する給與は更に減額する筈であると言はれてゐる

補給力は五ケ月位

濫りに發砲する勿れ〟と布告

爆撃と封鎖で大惱み

（上海二十三日發同盟）わが軍空襲部隊の大爆撃に依り南京飛行場、廣東、洛陽等の兵工廠や彈藥廠を徹底的に爆破された上海抗角、津浦、平漢、隴海の各沿線の停車場で前線へ輸送又は後方貯藏中の武器彈藥までわが空襲に依つて殆んど壞失した支那側は凡ゆる方法に依つて海外より〝人〟を企てたがこれ亦わが海軍の沿岸交通遮斷や米國の武器輸出禁止令に依り大體輸入の望み絶え武器彈藥は從來に增して缺乏を告げ、之がため軍需品の缺乏に對し「濫りに發砲するな勿れ」との布告を發した程であるが外國軍事專門家の見解では支那の彈藥補給力は大體五ケ月程度であらうといふに一致してゐる

公然と掠奪が行はる

【上海廿四日發】上海戰線の支那軍の給與は中隊長以上は米に野菜の煮込み、隊は一ケ月二回と云ふ缺食ぶりであるため公然掠奪が行はれてゐる

大白堊館陣地爆破

立籠る五十一、五十九兩師も潰滅

戰史に輝く砲工合作

（羅店鎭二十三日同盟特派員發）羅店鎭南方の小野部隊の正面に在る鐵筋コンクリート造り一町四方の大白堊館に立籠り去る八月九日わが軍の羅店鎭入城以來約一箇月に亙つてわが軍の爆撃に怯まず頑強に抵抗してゐた第五十一、第五十九兩師の根據地は二十三日午前八時四十分〇〇機の爆撃に始まり續いて四十米の坑道を掘りこの日を俟つてゐた山内工兵隊による爆破と共に潰滅に歸し黑煙天に冲し爆破も天地を搖がす大音響とともに殘敵諸共一瞬にして潰滅に歸した、小野部隊は午後四時敵陣地潰滅と見るや機を逸せず壯烈な突撃に移り小野部隊長自ら陣太刀を提げ左翼部隊と協力して劉行鎭、劉河鎭を貫く大道を占據し日の丸の大旗を同道路上に翻へし戰史に輝かしき砲工合作の一頁を飾つた

宋哲元監禁さる

南京に招致された儘

敗戰の責任者として

【天津二十三日發同盟】北支戰線の責任者たる宋哲元の所在については種々の臆測が行はれてゐたが、豫ねて宋哲元の招致を企圖してゐた南京政府當局は二十一日の通信に於いて「宋哲元は招電に依り南京に來てゐる」と稱し宋哲元の子供數人も南京に送られてゐるが、今日は宋哲元の消息は全く杜絶してゐる

【天津二十三日發同盟】北支戰線の責任者たる宋哲元の所在については種々の臆測が行はれてゐたが、豫ねて宋哲元の招致を企圖してゐた南京政府當局は二十一日の通信に於いて「宋哲元は招電に依り南京に來てゐる」と稱し宋哲元の子供數人も南京に送られてゐるが、今日は宋哲元の消息は全く杜絶してゐる

保定城内で同士打ち

雪崩れを打つて退却

陷落は目睫に迫る

【天津二十四日發同盟】二十三日夕刻保定城包圍を完成した我軍は夜來に引續き今曉猛攻撃を續行し遂に城内に突入、敵は遮二無二城外に脫出せんとして城内北門に殺到し雪崩れを打つて退却し、中央軍督戰隊は必死となつてこれが阻止に當り陸所に同士打ちを演出してゐるが大勢は如何ともし得ず血路を遮斷され今や唯一の逃げ場たる南門から徒歩或はトラックを乘捨ひ算を亂して南へ南へと潰走し保定より白城及び張登に通ずる通路は敗殘兵により埋められてゐる

城頭に日章旗飜る

【北平二十四日發同盟至急報】軍司令部二十四日午前十一時三十分發表、二十四日午前九時四十五分保定城北方より攻撃中の我軍は砲兵の協力の下に敵の猛火をくぐり保定城廓の一角に突入日章旗を掲げた

小林總督挨拶

本日總督に國民精神總動員本部參與の委嘱の開催せらるるに當り所感

を述ぶる發令を得ましたことは洵に感激に堪へません

本官の就任とする所であります

廣東と南昌爆撃

けふも空軍縦横に活躍

擧島一致團結し

時艱克服に邁進

けふ國民精神總動員

本部初參與會開かる

旣報、本島に於ける國民精神總動員本部、最初の參與會は二十四日午前九時より總督府正廳に於て開催、小林總督始め本部長森岡長官、島田副部長參與八名、其他の參與十五名出席、此外全島各州內務部長、各廳廳務課長も出席、左の如き小林總督、森岡本部長の挨拶に次で國民精神總動員の歷史的に入り、總動員の具體的、積極的方法が熱心に協議され正午過ぎ散會した（參與員は別項）

小林總督挨拶

本日總督に國民精神總動員本部參與の委嘱の開催せらるるに當り所感

を述ぶる發令を得ましたことは洵に感激に堪へません

本官の就任とする所であります

惟ふに 東亞の平和を確保し日滿支三國の提携を以て東洋安定の樞軸となし、延いて世界人類の福祉增進に貢獻せんとするは我國肇國の大精神であります、今次事變の發生に當りましても帝國は此の根本精神に基きまして眞摯總力戰以上帝國の方針を堅持し毎も支那の反省を促し一面徹力早期解決を念願したのでありましたが支那は我方の眞意を諒解せず却つて益々傲慢不遜にして東亞百年の大計のため斷然起つてゐた正義人道のため敢然起つてゐた膺懲の鐵槌を加ふることとなりましたことは眞に遺憾とにして且已むを得ざる結果と信ずるのであります、然して現思明なる輿論が克く此の情勢の推移に照し國內に於ける擧國一致の團結を鞏固にし、以て正義に基く國家總動員體制の實を擧げて皆さんと共に勇敢果斷なる措置を講ずることが肝要であります

東洋の 安定勢力たる帝國が從來の消極的態度を一變して東亞百年の大計のため斷然起つてゐた正義人道のため敢然起つてゐた膺懲の鐵槌を加ふることとなりましたことは眞に遺憾とにして且已むを得ざる結果と信ずるのであります、然して現思明なる輿論が克く此の情勢の推移に照し國內に於ける擧國一致の團結を鞏固にし、以て正義に基く國家總動員體制の實を擧げて皆さんと共に勇敢果斷なる措置を講ずることが肝要であります

敵軍を追撃

平漢、津浦兩線共

【東京二十四日發同盟】二十四日午前十時半現在の戰況は、平漢線方面に於ける我が部隊は二十二日夕刻保定附近一帶の敵陣地を攻略し城內に突入し抵抗中なる敵を掃蕩すると共に敗退する敵を南方に急追中なり、津浦線方面に於ても我が部隊は滄縣附近方面の敵陣地を突破し南方に向つて追撃中なり

米海軍新作戰

航空機を第一線に

【サンディエゴ二十二日發同盟】米國海軍は最近航空機の驚くべき發達に鑑み、艦隊航空機を以て第一線の艦隊に代替せしめんとする作戰の大變更を考慮してゐると傳へられるが、海軍當局も是を認めてゐる、目下の所實現迄の問題ではないが將來航空機の使用增大に伴ひ作戰上に重大變化が起るだらうと言明した

遣米特使の出發を急ぐ

【上海二十四日發】日本政府の對米使節派遣の報傳はるや南京政府は大いに狼狽し日本側に先行して來國にある各種團體を動員して對米宣傳の實行及對支援助運動の爲め顧問及外二名を來國に急派し大使主席と協力して當つてゐるが、更に先手をうたしめる事となつた

坂本參事官離臺

白耳義大使館參事官に榮轉した前外事課長坂本龍起氏は廿四日午前八時二十二分台北發の列車で森岡長官、齋藤參事長、河村、加藤民等をはじめ官民多數の見送り裡に夫人令息を同伴滿洲の途に就いた

人事

▲八角三郎氏（拓務局參事官兼任）（滿洲ホテル）

▲島田叡氏（內務局長）（廿四日午前九時台北發）（台北ホテル）

▲後藤鎭二氏（滿洲國參事官）廿一日花蓮港に赴き廿四日夜歸北

▲糸井榮氏（內務局長）（廿四日午前九時台北發）

聯盟委員會に獨も出席拒否

【ジュネーブ二十三日發同盟】ジュネーブ發ヒトラー總統ドイツ總理兼國務相は本國政府の訓令に基づき二十三日聯盟事務總長に對しドイツ政府は二十三ケ國諮問委員會の招請を拒否する旨正式に通告した

その日その日

○

わが無敵艦隊、無敵陸軍、と言つて先方が特に怖いわけではなくて單に早くつくだけ

○

その代り、都合がよければ最後まで攻めておいて一擧に殲滅するなんてことも早くつくだろう

○

敵が逃げつゝあるにかゝはらず、これを追撃しないで、そのまゝ放置するなんてことは、ちよつと考へられない

○

元來、何しろ敵軍で、平均一人一日に何一粁の割合で後退するのだから、これを追撃するのは、ちよつと骨が折れるのみならず

僅かの誤差もなく 敵陣地を爆破

許され○○部隊長機に同乗 壯烈な滄縣空爆を觀戰

【○○基地にて二十三日發本社特電】○○部隊長指揮の○○機○○台編隊は滄縣北方一帶の敵陣地爆撃に際し部隊長機に同乗を許された私はまるで觀劇を空中より觀戰した、午前十時愈々出發命令だ

津浦線左翼の前方敵陣地を攻撃地上部隊に協力すべし

と機長の訓示が終ると、一同パラパラと機上に飛び乘つた、記者も選れしレ○○部隊長機に乘込む、機は○○部隊長指揮の○○機○○台と○○部隊長指揮の○○機○○台

上空の 巻たい雲を縫ながら一路目的地に向つた、永定河を過ぎる頃次第に眼下に河北平野が展開されて行く、永定河は左岸の敵陣地が白波を立てゆく、見て一面の沼澤地が展開された、見渡す限り一面の湖水だつて前方に大きな城壁に包まれた滄縣の市街が見える○部隊長は敵

近くの 機を離れ淺い加速度をつけて敵地に落下して行くとヒユーと風切音がして爆弾が出來たと思う間もなく轟然たる爆發の音だ、尾翼が振動する程の爆風を受けてギクリと上下左右に動搖したが物ともない、敵陣地は土煙りに包まれて全然見えないが

蜂の巣 の如くなつた敵陣地がクローズアップされるだらう、斯くて轟々たる爆發音を殿軍に編隊整々隊形した

度も數度も敵地の上空を飛び廻り地には敵の射撃の中を悠々と旋回して行く、ヒユーと風切音がして爆弾に合圖すると見るや、機は急降下し爆撃を投下した爆弾が目標の煙突、一瞬眼下の敵陣地及びその

にフワ飛んでるのを見た思う前に機は上昇をとり今度は逆に急降下に入る、機關銃と見るや機首を真下に向け凄いダイビングだ、その度に爆發がスイ〳〵と

不換紙幣を支給され 大弱りの支那兵

仕方なく掠奪を働く

【香港二十四日發】支那廣東陸軍戰線に在る者は大體一ヶ月遲れて前月の俸給を支給されて居るがこの際には不換紙幣を使用してゐる爲廣州近郊の住民より兩替を拒絶され大弱りの事實が出來ないので仕方無く

數は銀貨價格の數十倍に上つてゐる爲貨幣は私鈔取締并法を施行し各機關にて金銀貨幣の低落あるものに限り十萬元の私鈔の發行を許す事にしたが各商店の低に發行した

私鈔が行はれてゐる支那諸省では私鈔と官製紙幣との混雜の爲め

中山少佐、藤澤大尉 ○○○○で戰死す

"本望です"—中山少佐夫人

【○○基地】敷發立つて愛支應懲の部隊中の或が○○部隊長中山英勝少兵少佐並に藤澤航空隊大尉の戰死に際し中山少佐夫人は

○○○○○○○○○○○○○○、その間上海事變以來○○○○○○○○○○○○○○

戰慄すべき毒ガスの性能

科學の惡戲！同時に教へる防毒藥物のいろ〳〵

將來戰に使用する最も恐るべき化學兵器の一つは毒ガスである。毒ガスは戰場の用意なき人命に對しては、實に驚嘆なる威力を與へるもので、世界大戰中一九一五年四月二十二日、イープル戰線に於て獨軍が始めて大規模に毒ガスの放射を行つた時は、風下の英軍に對して一擧に死者五千、中毒者五千、俘虜五千と云ふ大打撃を與へたといはれる？

しかも當時の突發的戰慄は、毒ガスの放射は濃り戰線のみならず背後に於て遠く後方の都市を襲ひ、水道を汚染化し、畜産を破壞することなどが考へられ、また毒ガス彈を雨の如く降らすことなども考へられてゐるといふ。毒ガスの問題こそ何人にも大切な事柄で一般民衆の注意を喚起することにする。

× × ×

毒ガスの原料たり得る戰爭の種類は多いが、今日一般に知られてゐる戰ガス彈の戰慄をなすものは糜爛、窒息、催涙、ジアンである。

糜爛は天然に存在（硫黄などから日本は大産だ）として著しく、食鹽水の電解によつて得られ、製紙は雨水中又は土壤を侵出させた後の世界から造られ、催涙は窒素に伴つて著しく、催涙は天然に存在として著し、ジアンは硫酸を變化ソーダに作用かして造られるのである。

いまこの毒ガス彈を破け、その製造機構の概略、及びその傷害に防護法等を示すことにする。

× ×

窒息性のもの

この興へる作用的傷害は、呼吸器系統を侵し、遂に窒息せしめて、殺害に至らしめる。その防毒法は、活性炭及びソーダ石灰を用ひて吸收させる

鹽素　食鹽水の電解によつて造られるガスを、綿に含ませた濾過器として使用するものであるこれが防護の用意なく吸入されれば、鼻腔に炎症を起し、肺に充血、氣腫、水腫併發を起し、甚しきは死因となり、又肺炎を後發することがある。

消毒法としては次亞鹽酸曹達液で化合させて消毒する。

ホスケン　炭素と鹽素を觸媒として作用させ、その生成ガスを液化させて造る。（猛烈な）呼吸器系統を急激に犯し、肺充血、水腫、出血、血壓下降、氣管炎、肺炎を起す。

消毒法は過酸化曹達、苛性アルカリ溶液、水等で分解する。

催涙性のもの

これは眼の粘膜を侵して催涙を來し、一時に甚だしき痛力感覺の著合と同じである。その防護法は臺の性質ガスを用ひて製造する。これに觸れれば、眼の粘膜を侵し、結膜炎を起すことも多い。液體は皮膚に觸れる事へ、吸入すれば肺炎を起す。この消毒法は熱アルコール性苛性アルカリ溶液で分解させる。

臭化ベンジル　臭化ベンジルと酒精との混液に、青化鹽類を加へて蒸氣を作用させて造る。（猛烈な催涙）催涙と共に眼に疼痛を與へ、瞬間閉ぢ、又開けられない。

臭化ペンジル　トルオールを沸騰させ、臭素を作用させて製造する。これに觸れれば、眼の粘膜を侵し、結膜炎を起すことも多い。液體は皮膚に觸れる事へ、吸入すれば肺炎を起す。この消毒法は熱アルコール性苛性アルカリ溶液で分解させる。

青臭化ベンジル　臭化ベンジルと酒精との混液に、青化鹽類を加へて蒸氣を作用させて造る。（猛烈な催涙）催涙と共に眼に疼痛を與へ、瞬間閉ぢ、又開けられない。液體は皮膚に觸れる事へ、吸入すれば肺炎を起す。この消毒法は熱アルコール性苛性アルカリ溶液で分解させる。

臭化ピクリン　硝酸を水に混じて硝酸にし、ピクリン酸を加へて水で希しつつ蒸留して造る。（猛烈な催涙）催涙と共に眼に疼痛を與へ、瞬間閉ぢ、又開けられない。液體は皮膚に觸れる事へ、吸入すれば肺炎を起す。この消毒法は熱アルコール性苛性アルカリ溶液で分解させる。

臭化アセトフエノン　アセトフエノンを臭素化するか、氷醋酸に臭素を作用させて、一臭化物を作り、これに三臭化アルミニウムを觸媒として造る。この消毒法は、フエルト、活性炭、及びソーダ石灰を用ひて吸收させるのである。

ヂフエニール臭化水素　ヂフエニール臭化物に苛酸を加へて蒸留して造る。この消毒法は、フエルト、活性炭、及びソーダ石灰を用ひて吸收させるのである。

ヂフエニール臭化物　アニリン及び臭化物を原料として、これに臭素を作用させて造る。

ヂフエニール青化物　ヂフエニール臭化物に青酸を加へて又はヂフエニール臭化物に臭素を作用させて造る。これは刺す如き刺戟を與へ、頭痛を催し、クシヤミ誘だしく、眼者と同じ症狀を呈する。

アダムサイト　ヂフエニールアミンと二臭化物素とを加熱して造る。

クシヤミ性のもの

鹽酸を蒸發して、クシヤミを誘發させ、併せて嘔吐を催させる。この防護法は、フエルト、活性炭、及びソーダ石灰を用ひて吸收させるのである。

ヂフエニール臭化水素　アニリン及び臭化物を原料として、これに臭素を作用させて造る。これは刺す如き刺戟を與へ、頭痛を催し、クシヤミ誘だしく、眼者と同じ症狀を呈する。

ヂフエニール青化物　ヂフエニール臭化物に青酸を加へて又はヂフエニール臭化物に臭素に青化曹達液を作用させて造る。これは刺す如き刺戟を與へ、頭痛を催し、クシヤミ誘だしく、眼者と同じ症狀を呈する。

クシヤミ性のもの　鹽酸を蒸發して、クシヤミを誘發させ、併せて嘔吐を催させる。この防護法は、フエルト、活性炭、及びソーダ石灰を用ひて吸收させるのである。

ヂフエニール臭化水素　アニリン及び臭化物を原料として、これに臭素を作用させて造る。これは刺す如き刺戟を與へ、頭痛を催し、クシヤミ誘だしく、眼者と同じ症狀を呈する。

ヂフエニール青化物　ヂフエニール臭化物に青酸を加へて又はヂフエニール臭化物に臭素に青化曹達液を作用させて造る。これは刺す如き刺戟を與へ、頭痛を催し、クシヤミ誘だしく、眼者と同じ症狀を呈する。

アダムサイト　ヂフエニールアミンと二臭化物素とを加熱して造る。

主婦ノート

★おそうは婆さんのがよい

子供のおやつに喜ばれる、おさつがいよ〳〵盛んに出てゐますが、甘藷は糞素の点からいふと蛋白質一・〇%脂肪〇・三%、含水量三七・七〇%、繊維質〇・七四%、灰〇・七〇%カロリー二〇〇となつてゐますが、これの中に含水炭素は消化するために大切な糞素分で酸性盛りの子供にはもつてこいのものです。さして甘藷の多い繊維の中で、これ等の糞素分は黄色い白いのや、おいらんもより、豊通の黒色のおさつを召上つて下さい。尚子供にはただふかしてやるばかりではなく、一寸工夫して菱つたお菓子にしてやれば尚喜んで食べませう

して造る。これはクシヤミを誘ひ、又は涙を催させるが、毒ガスを吸入すれば、判斷に緩慢だが、永續的である。消毒法は前二者に同じ。

鹿爛性のもの

皮膚を發赤腫爛させ、併せて眼及び呼吸器を犯す。この防護法は硫化鐵及び酸素曹達石灰を用ひて吸收させる。

イペリソト　塩化硫黄にニトレンを作用させるか、硫黄に塩素ガスを通じ、次に塩化鐵を加へ、更に硫酸を作用させるか、もう一つは二塩化硫黄に少量のイペリットを加へ、エヂレンガスを通じて造る二方法がある。これが皮膚に觸れる時は先づ所味を覺え、次に水泡を生じ、化膿して終に潰瘍する。且つ呼吸器や消化器をおかす。消毒法は硫酸、過酸化曹達やの消毒法と同じ。

ルイサイト　二塩化アルミニウムを觸媒として、二塩化硫黄にアセヂレンを作用させて造る。これ等は皮膚及び呼吸器を犯し、潰瘍を起し、且つ皮膚に吸收されて糜爛の毒作用を起す。消毒法は硫酸、過酸曹達、苛性アルカリで分解する。

× × ×

毒ガスに關しては、なほ、別々な製造法や用ひ方もあるが、「家庭と婦人」の讀者諸君には、餘り關わかもと二中にはあまり興味のない事柄であるから、これだけの概略で筆を止めることにする。

× × ×

病的感傷を葬れ

答　悪は醜神の問題だと思ひます、貴女の家でたまたま災難に遭遇した位で、貴女の將來を悲觀なさるものは間違つてゐます。人生は長い、貴女の今の御心境は恐らく一時的のものでありませう。

× × ×

處女を汚されゐる

問　女學校五年生夏、學生としての最後の樂しい夏休にお友達の家でその兄様の友人を紹介されました。その兄は醫大生で明らかな方でした。その後其には家に遊びに來て貰いたりしました。所が新期に入つてからは其の面影が心に殘れて居られぬ身となりました。今月の初頃思ひがけなく其からお手紙をもらひ、なほ文通をしたり時には二人きりでお會ひしたりしてゐました。兩親もこの交際は認めて下さいましたのですが、私は心配でがありました。で、最後を出ると何故を頼つてしまつたのです。所が先方からはつきり戀申を受けるまでの間に今更の如く夢を苦しめて居ります。と申すのは、父の仕事の關係で一時歐洲へ行きますと、其の時は多分小學校の四年か五年頃ですが村の處女なので、それからずつと交通をしたり私の家に遊びにいら

國定忠次 (62)

（表紙畫）

長谷川伸作
岩田專太郎畫

浮浪の士 (四)

「さうか、百姓村の殺人の噂が、どこかで本当を持つたと聞いたか」

「聞きゃ、お縄の本当だ」

「さうか」

「何もそんなに聞いてくれなくても良い、それより今の世間の有様に聞いてくれ」

「何だと」

「世間の噂の悪さに懲りつづくづく聞きたいてゐる、どうだ半助は殺かれたのか」

「何を聞くことがあるんだ、殺かれた」

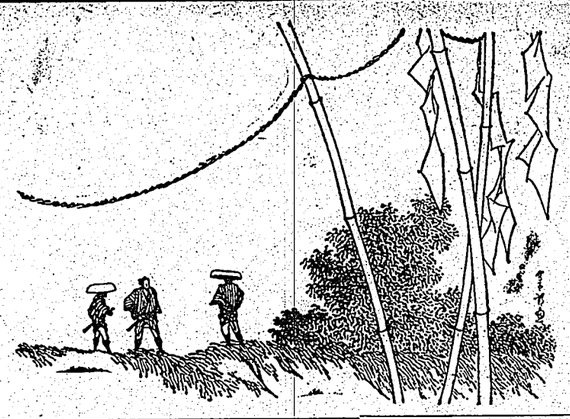
「伊三郎も聞いてゐるか」

「聞いてなんかゐねえ」

「さうか、そいつは倒れて口がきけねえな」

「何だと」

「そんな悠い聞するな、俺の方が悠い聞がしてえ、いやさうじやねえお百姓さん方のけふこの頃をみろ、どの人この人みんな細面を聞んで



ゐるぞ」

と、いま忠次の面は到底廿五歳の男とは思はない、もつと老大な、しかも、聞悪を聞しく苦労した面である。

思次郎のさうした形相をみた聞石は、これは切り、昨年の夏、聞倒、聞さえ、計策さうとして仕聞しだ、あの二件の殺みを含み今に聞悪で解けるものと思ひ、ぢりぢり後へ後へさがり、身の安全だからとしてゐる。が、それは聞え、悪い図を思ふ図がしてゐるのは、時代の為である。

天保五年といふその時の、徳川幕府は十一代家斉で、家斉は十六人の妻妾とあり、それで、子を生ませたこと五十九人、それでも幕府に聞聞したときは、断乎として、幕府の断聞、松平越中守定信（白河楽）を老中聞とし、幕政の改革を行はしめた。が、余く続かず、後には水野出羽守忠成を聞用し、田沼の聞政時代に、幕を聞政治時代をつくらせた。

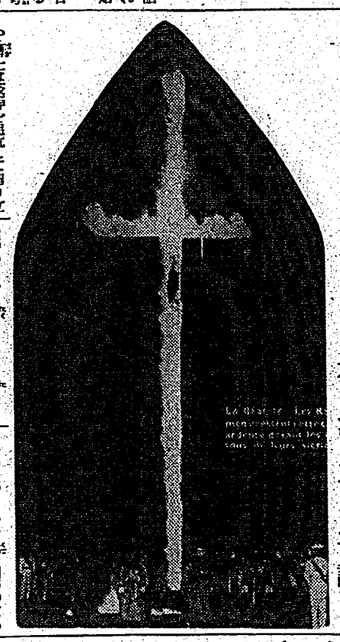
家斉の幕府の時代は、上下ともに奢侈に聞聞と流れ、天明の田沼時代の方で、聞悪と奢侈とが相つて聞悪であつたといふ、奇聞を呈した。

聞悪の弊を矯だしく利益の甲云ひ聞としてゐるやうに、必ず語をしてくれ、江戸で聞乞人が減れ出し、お上を手古すらした罪を知つてゐるか」

昨年（天保四年）九月二十八日の、江戸の農民騒聞のことである「知つてるだけちや聞目だ、おてくれなくちやあいけねえ。お上ちや、米の値をあげさせめえとした。食べねえ者があるので施行もしたが」

聞民に金を給したのは、その年のあのことである。

「上州はもとより諸々、聞ひ米ご作上にたつたのは去年だぜ。阿ご五年の聞飢のお布令が出たのを知つてるだらう。



我等の良心は肉體といふ檢事から聞かれても、どうして聞くのかを知る。彼女達はこの小さい家の入口に近い、壁にもたれた大佛正のクルビオン氏が來るのを待つてゐるのである。二人はおしやべりをしたいと思つて、少し早目に來たのである。苦しみがあるのに默つてゐるのはとても堪らないからだ！

「聞ぎまあ、あなたの子供さんは御親にお縋りしてゐる少しはよくなりでしたか？」

P博士は彼等を沿光して取り立てて、そしていろんな質問に從つて分析をしてゐる。が、いくら研究してみても、果して彼等を處聞し得るものかどうかは自分にもはつきりしないのである。彼等——といふのは、未來を知り、あの世の時鉾を聞いたいといふ情熱、また來とは如何なるものであり、また

インチキ大僧正

愚人をだます邪法を探る

（上）

リュシアンス・エルコール

石濱三男譯

ジャコブの墓は、この小さい家の屋色の壁の中に、一聖にただの一個現れるのみである。その日

上げるべきかを知つてゐる。感と金と、この人生の兩極のものが一時に手に入る。その約束をするのが凡そ百スウなのである。

ところが、ジャコブの墓の新能はこれどころではない。この世の中での生活を注意深く見てゐて下さり、近くのパリの墓場からチノ・ロッシイの陰氣な聲の聲こえるお告で、花咲く美しいあの世のことまで約束して下さるのである。

ジャコブの墓は、この小さい家の屋色の壁の中に、一聖にただの一個現れるのみである。その日には四、五十人の人が集まる。これらは總て敬虔に敬びに來る客の人々だと、門番の女はいふ。

×

さうやないのだ。これは信者達こそ、聞悪と奇蹟を現はす靈驗の大佛正なのである。どの女もけばけばしい風をせず、男も出來合ひの服を着々しげに着て、みんな人を感動するやうな風はない。或る人達にこれから起る感動に聞へるために、強いリキュールを飲んでゐる。

男も女も靜かに打ちひしがれた人なので、みんな同じやうにキヨロキヨロして怯えてゐるやうな眼をしてゐる。

そのリズムが割らない近代生活といふものに感々な自に遭はされた本當は彼等自身の罪ではないのに、時には法律に、また聞を病氣にといふ風に縛り立てられてゐる彼等には、あり來たりの祭聞などといふものは何の役にも立たぬのである。彼女達はこの小さい家の入口に近い、壁にもたれた大佛正のクルビオン氏が來るのを待つてゐるのである。二人はおしやべりをしたいと思つて、少し早目に來たのである。苦しみがあるのに默つてゐるのはとても堪らないからだ！

「聞ぎまあ、あなたの子供さんは御親にお縋りしてゐる少しはよくなりでしたか？」

「聞ぎなんてしあはせな人なのものよ……」「さうよ、主任司祭な聞師……」

「聞ぎなんてしあはせな人なのものよ……」「さうよ、主任司祭な聞師……」

「あなたの旦那さまはどうですの？」

話題は健康のことから始まる。これがないと話題に困るからである。

「あたしの聞はつうとよくなりましたわ、聞聞剤が二瓶だつたせう。あれがジャコブ樣のお蔭で大分よくなりました」

「すつかりよくなりましたの？」

「いいえ、でもさう早くはね。でも、ちつとも氣にかからなくなりました。施療院の先生だつたらさつとあたしの氣が變に成つたんだと思つてゐるでせうよ。でも、本當にちつとも聞くなくなつたんですもの」

「まあ、あたしの胃さうなの。ジャコブ樣の所へ來る聞にもいろんな聞樣に苦しと聞き上げました。病人でおめでたいものね。でもジャコブ樣におすがりしなければ聞目だとおもつて祭りましたの？何とか事實ですものね。あたしはクルビオン氏樣のお世話になつてからよくなつたやうな古氣を聞つてゐるやうに、人々はやつぱりその生活を聞つてゐるやうな有樣である。

昨年（天保四年）九月二十八日の、江戸の農民騒聞のことである「知つてるだけちや聞目だ、おてくれなくちやあいけねえ。お上ちや、米の値をあげさせめえとした。食べねえ者があるので施行もしたが」

聞民に金を給したのは、その年のあのことである。

「上州はもとより諸々、聞ひ米ご作上にたつたのは去年だぜ。阿ご五年の聞飢のお布令が出たのを知つてるだらう。

カナ文字ニュース

△ワガ海軍航空隊ハ二十三日午後江陰砲臺ヲ空中カラ ソウコウゲキ ヲ シタノデ砲臺ハ メチャメチャニ ハクワイ、敵艦一隻ハ バクチン 他ノ二隻ハ 火災ヲ オコシマシタ。マダ 廣東モ バクゲキ シマシタ

△平漢線ヲ 南下シタ ワガ カク部隊ハ 二十三日 午後五時ニハ 保定城ヲ ハウキ シマシタノデ 敵ハ フクロノ 中ノ ネズミトナリマシタ

今年中は契約濟 然し後が心配

大世界館側

せうか

現在の處は本年度契約がありますので別に困りませんが、これから來年度の洋畫契約をするのですが、輸入制限の立聞で配給數が高くなりそれが入料に影響するのではないでせうか、全く聞つてゐます。どん底になるか見當がつきません。內地の方へは詳細の事を知らせる積に云つてゐますが、その結果でないとどうしていいか判りません

外畫の制限は 邦畫の質的向上

督府映畫檢閱側

をしてゐる向きもあるが、台北州では禁止はしてゐない、けれども輸入は嚴重にしてゐる。少くとも國民精神總動員の趣旨に反するものは支那映畫に限らず カットしてゐるが、これも特殊の事情にある台湾として當然のことである、然し輸入制限になれば當然映畫も統制されて良い映畫が觀られる事になる我々の苦勞も少くなつていいと思ふ、輸入制限もとの程度のものかそれに關しては我々經驗外の事であり答辯する處でもなからう

外國映畫も戰時體制 外畫制限を巡つて

島都各館の意向

エクランの大黒柱——過日發表された海軍當局に依る外國映畫輸入制限問題は各映畫關係者間に相當な反響を與へてゐるが、これについて二十二日各北市內の外國映畫上映の各常設館側は今後の興行方法などについて次の樣に語つた。

國際館側

國民精神總動員の一本立で其他映畫を加へて料金を安くして行く考へもあります、他に以前上映した部のある名畫を新版物で出す手もありますがフイルムが高くなつてゐるので先づ至難でせう、今の處はパラマウント、東亞商會、ユニバーサル、世紀の配給で、月二十四、五本程度を入れて上映してゐます、詳しい事はまだ判らぬのでこれ以上の事は話せませんが、然しどちらにしても困つた事です然し國民以上の事ですから無理も云へない訳です

邦畫だけでもやつてゆける

タイゲキ側

す、然し日本物だけでやつてゆけないことも有りません、外國映畫輸入制限問題もとの程度のものか明瞭でないので大いに觀て對策をたてる必要があると思ひます」

映畫界も戰時體制

外畫制限を巡つて

島都各館の意向

エクランの大黒柱——過日發表された海軍當局に依る外國映畫輸入制限問題は各映畫關係者間に相當な反響を與へてゐるが、これについて二十二日各北市內の外國映畫上映の各常設館側は今後の興行方法などについて次の樣に語つた。

國際館側

國民精神總動員の一本立で其他映畫を加へて料金を安くして行く考へもあります、他に以前上映した部のある名畫を新版物で出す手もありますがフイルムが高くなつてゐるので先づ至難でせう、今の處はパラマウント、東亞商會、ユニバーサル、世紀の配給で、月二十四、五本程度を入れて上映してゐます、詳しい事はまだ判らぬのでこれ以上の事は話せませんが、然しどちらにしても困つた事です然し國民以上の事ですから無理も云へない訳ですよ

邦畫だけでもやつてゆける

タイゲキ側

す、然し日本物だけでやつてゆけないことも有りません、外國映畫輸入制限問題もとの程度のものか明瞭でないので大いに觀て對策をたてる必要があると思ひます」

今週の映畫

松竹映畫

幸福の素顏

二十二日より
タイゲキ上映

「現代科學の日本の誇りを象徴し

べく選んだ當時材料となるといふ點で外國物にはこの頃珍しい明朗な作品である。聞題は、北見敏子、井上久榮、坂聞達郎の助手演の松竹時代聞の戀の模樣を併映する

J・O映畫

南國太平記

廿四日より新世界聞上映

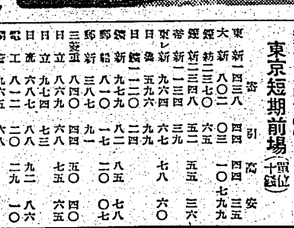
故島田三郎氏の原作で往年既に二、三の社で映畫化された聞門光三郎は第四、第五北條の發聞を演じ最も適役と定評あつた、今度の役に扮し、物語は久光（澤村國太郎）醫立派と對照的の聞聞を背景に新色牧逸聞）一味に發覺された父（聞聞）の仇を討たんとする小太郎（聞川雛太郎）繪手花井蓮子）深雪（松聞公子）の戀とこれを助けつつ維新前後の政局を背景とする盛聞を描いたものである、聞聞な重木錠太郎の監督な演出はホンのお聞

R・K・O映畫

肉彈鬼中隊

二十五日より
聞聞館上映

「大空の覇王と呼ばれた聞聞以來のジョン・フォードの最傑作聞聞で原作はパトロールと題するフイリップ・マクドナルドの大空小說の聞聞化である、歐洲大聞中メソポタミヤの沙漠に於て英空の一中聞の手なる騎兵隊が行進中突如銃丸が飛來して中聞は聞死する兵聞が次つて指揮して分隊は其の手を行進を續けるが分隊の使命も目的地も又本隊の現在地も方角死んだ指聞一人が心得てゐたので殘された聞隊は全く聞明である、一隊はオアシスを發見して夜營する。飯のアテビヤ狙撃兵は砲兵に委をかくく作り盛んに狙撃して十二名の負傷者を出す次々に仕されて行く、聞ふに一發は影なく倒れれば敵兵が飛來する、ほとんど絕望の境地におかれた指聞隊の悲壯なし聞聞



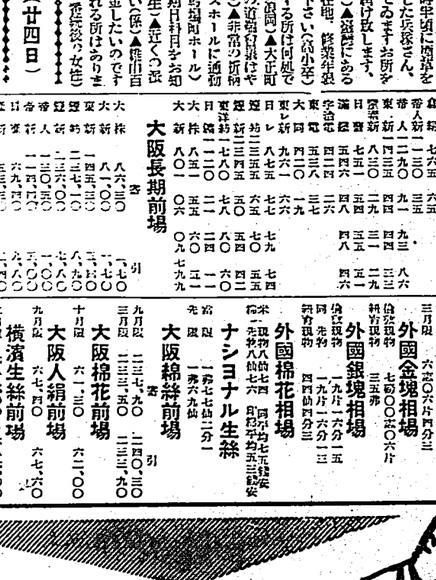
ロブ、レヂノルド・デニー、ウオーレス・ブオード等、同時上映畫は同じくR・K・Oの活劇「特急機關車」で大衆特別聞聞として料金は二十錢で公開する、聞聞二回目開演後九時四十分より約一時間料金十錢で公開する、聞聞は朝日新聞社の「豐穰の聞聞」二聞と同ニュース、バ社聞聞をも上映。

有段者十人抜碁戰 (第廿二)

（局の三）

本社主催

四段 橋本國三郎
二子初段 前田眞淨



つそれたよかわをるぬりちとへはにはろい

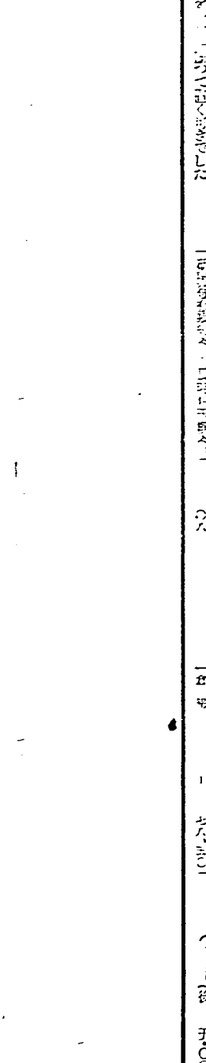
一二三四五六七八九十二三四五六七八九

自黑 橋本國三郎

❶…白八二位置でした八四に引いた方が良かつたやうである ❷…黑百四は方向が惡かつてゐる 黑へ下つておりた方が良かつた ❸…黑百十七に引いたのは白十七に引いて置くべきでした

商況 (廿四日)

正米市況前場



大阪短期前場（十錢延）

大阪長期前場

大阪期米前場

東京期米前場

神戸期米前場

大阪期米前場

東京短期前場（十錢延）

紐育株式

外國爲替相場

神戸對外爲替前場

シカゴ小麥

紐育砂糖

倫敦砂糖

外國金塊相場

外國銀塊相場

外國棉花相場

ナショナル生絲

大阪綿絲前場

大阪棉花前場

大阪人絹前場

横濱生絲前場

大阪砂糖清算前場

大阪期米前場

大阪短期前場（十錢延）

東京銀行實株

潮汐（二十五日）

登錄商標

健胃固腸丸

仕事に疲れ易い　思考力が鈍い　斯ういふ人に胃腸障碍が多い
生活戰線での勝負は何んと云つても胃腸で決まつてゐます
胃腸をギユツと緊張させて置いて下さい
急性慢性胃腸病に

ニセモノあり
マークと名義に
御注意を乞ふ

本舗 大阪 谷回春堂

臺灣日日新報 (原臨配號) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) (昭和十二年九月二十五日) (土曜日) 第一五二三四百七十三號 (一)

中央公論

臺灣日日新報

日支事變を繞る歐米列強の動向

細川嘉六

★蔣介石に與ふる戰爭と議會

宮崎龍介 馬場恒吾

●擴大特輯號

長期抗戰の支那

及川六三四

人間・蔣介石

水野廣德

★支那を繞る宋の一族物語

(無名戰線の續篇)

ソコルスキー 波多野乾一 陳獨秀

スターリンの運命・ケレンスキー

難邦に就いてローマン等を反撃す・アンドレ・ヂイド

支那奥地三千里

尾崎士郎

支那海戰線

林房雄

★繪と文 新江東圖說

清鋼方木

★支那を喰ふ世界の軍需會社

久野豐彥

獨占王物語

鈴木茂三郎

文藝展望臺

高沖陽造

テイントレツト回顧展

有島生馬

地獄十スノーダカボル

北海風千里

支那に於ける英國の勢力

尾崎秀實

支那國防經濟論

堀江邑一

容共聯蘇政策

橫田實

赤色帝國主義論

嘉治隆一

八方より眺めたる大隈侯(交遊錄)

德富猪一郎

イヴオンヌ通信 武林無想庵

危局!地中海

益田豐彥

戰爭隨筆

清澤洌 鐵石生 黑潮生 萩原井泉水 石川欽一郎 尾崎士郎 林房雄

戰爭支不可侵條約と米國中立法

神川彥松

戰時財政に於ける公債政策の役割

高木壽一

新劇・吾等の途

瀧澤修 中村伸郎 東山千榮子 村瀨幸子 細川ちか子 三津田健 小澤榮太郎 小笠原章二郎 小笠原貞子 小笠原良子 小笠原良子 小笠原良子

歩いて來た道これからの道

薄田研二

三周年の合言葉

瀧澤修

社會的な發展的責任

中村翫右衛門

再建「自由劇場」を語る

市川左團次

現代劇と新國劇

島田正吾

冰語の詩

嫁花の詩

間島の抒情

炎の抒情

代千野宇・間の漢空

子のみ本岡・乱撩魚金

極東を掩ふ赤色戰線・中保與作

思ひ出の上海

滿洲匪賊境

昌記 傘子光晴 綾谷孝道

レーニンの母への手紙

清澤洌

★明治大正の文學傳統 森山啓

我國の學問の今後 佐藤信衛

此一戰は蔣介石への日本人としての感謝で日支人として同時に同盟國民衆の心からなる聲である

日支事變を繞る歐米列強の動向

細川嘉六

赤軍對日戰術の考察

二島康夫

地中海浪高し

木下半治

事變と英米の動向

伊藤正德

さらば青島

小谷節夫

腰を据えた内閣

城南隱士

話題の夜政界

事變と經濟方策

太田正孝

戰時と犯罪

戰時と思想

淺野晃

戰爭と文學

河上徹太郎

戰爭とジャアナリズム

杉山平助

戰爭と娯樂

新居格

秋色隨想

燈下漫筆

高野辰之

秋の懷古

朝倉文夫

北海道の旅

入澤達吉

皿

徳田秋聲

事變と日本の大衆

麻生久

履

石川淳

米・葉煙草

島本健作

事變と近邊密談

日本から對岸の本

社説 困貧の說

千人針情景

鬼苑道話

狐物語

山田珠樹

軍歌放送の失敗

戰爭とオリンピック

現地通信

市街戰と國際都市

戰禍の上海より

中村伸康

北支通信

坂本義男

十字砲火を浴びて

松本辰雄

白襷隊血戰行

多賀次郎

戰時遺棄

下に於ける國民性を活かすの重大性を忘却するな!

太田正孝

隨筆

服部字之吉 五問五答

近藤眞澄 日露戰役の時歐洲に居て

齋藤阿具 筆一本

古澤了信 人としての支那觀

曙井忠温 支那人の書

楊草仙 想

中村研一 ボストンの想

八角三郎 南京の詩

坪谷水哉 起

武藤夜舟 チヤンバラ劇に見る國民性

室伏高信 將來の文學

小西謙三 西亞の乞食

百田宗治 露

原田謙太郎 文學者と國語改善の問題

甲賀三郎 獨逸人の苗字

石丸九鬼 國民保健と三尾問題

渥美鷹水 時局感

隨筆

結核 貧血 胃腸強化

活力榮養ホルモン劑

鱈肝臟・牛胆汁 配合

登録特許

カオ肝精

秋の夜の會談座

芦田均 小林一三 藤澤親雄 森茂 藤枝丈夫 長谷川唯一 安田德也 了士

支那事變は支那を舞台とする日蘇の正面衝突である。公然たる武力援助の猛烈を極めるコミンテルンの活動を挾んで今又蘇支密約の報に接す。支那の危險性は極めて濃厚だ!熱讀を希む。

支那の現代

特別附錄

二百數十名を收錄す

短歌・都市

文藝春秋社

東京市麹町區内幸町大阪ビル

◆日本の評判◆人民の聲◆

◆話の屑籠◆

菊池寛

◆獨り合點◆

島田宗正白

Whosuto!

昭和十二年九月二十五日 (土曜日) 第一五二三四百七十三號 (一)

平地泉を占領

千田、板倉兩部隊南、北門より入城

【大同二十四日發同盟特派員】平地泉北方約二粁の三角山を占據した千田部隊は二十四日午前四時折柄の豪雨を冒して前進を開始し夜明けと共に精悍な蒙古騎兵とも連絡をとりつつ平地泉の敵に猛撃を加へ更に午前七時五十分頃我が〇〇機の敵陣地爆撃等空陸呼應して敵を壓迫し激戰の後遂に午前九時五分平地泉に入城した、尙平地泉の敵は約三千であつた

【大同二十四日同盟特派員發至急報】平地泉北方約二粁の三角山を占據した千田部隊は二十四日午前四時折柄の豪雨を冒して前進を開始し夜明けと共に精悍な蒙古騎兵とも連絡をとりつつ平地泉の敵に猛撃を加へ更に午前七時五十分頃我が〇〇機の敵陣地爆撃等空陸呼應して敵を壓迫し激戰の後遂に午前九時五分平地泉に入城した、尙平地泉の敵は約三千であつた

【大同二十四日同盟特派員發至急報】平地泉東北方より進撃した板倉部隊は二十四日午前九時五分平地泉に入城し目下城内の殘敵を掃蕩中である

内蒙古軍來り參戰

【厚和二十四日發同盟】平地泉目差して蒙古軍團が逐次集結中の情報に鑑み、國防政府、國防委員會、國防最高會議は緊急會議を開き、國防に關する重大決定を爲すに至つた

原案通りに議決

實施事項(大要)

國民精神總動員本部の實施事項を審議

四日閣議で方針決定

聯盟の事態變介入は事態を紛糾に導く

帝國は代表を送らぬ

ソ支相互援助密約

親ソ派分子が暗躍

國共合作を公然と發表

國府も愈よ赤化

時局則應策の打合せを行ふ

きのふ內務部長會議

長官の訓示

英大使事件の圓滿解決

空、陸呼應し猛烈に攻撃

時局則應策の打合せを行ふ

きのふ內務部長會議

長官の訓示

英大使事件の圓滿解決

奇怪！公海に支那の浮流水雷

由々しき不法行爲

時局則應策の打合せを行ふ

きのふ內務部長會議

長官の訓示

英大使事件の圓滿解決

空、陸呼應し猛烈に攻撃

投降兵が續出

飢餓に堪へかねて哀願

津浦線上の某要地爆撃

我が海軍航空隊が

軍用列車を遂に撃破

第七路軍總指揮に

李品仙新任

桂林で策戰に腐心

廣東は戰慄狼狽

暴動勃發は免れぬ形勢

支那は糧食不安

半額品に人気集中
あと二日　半額品で荷物の運れた六分が
二十五日　各種商品にわたり豐富に着荷
二十六日　致しました後二日間です
是非御出かけ下さい
大吳服店の分產品だけに
柄と云ひ品と云ひあか抜けがして居ります
松井吳服店

北支の農資産源

五省の耕地面積 全支の三分一

棉花は全支産額の六割 畜産は我國をリード

北支は關東軍の軍事的に占領せる區域に屬し全支の半分と稱せられてゐるが、いま、北支全體の耕地面積に對する比率を見ると次表の如くで、耕地の九割以上は棉で占め耕地全體では支那全耕地面積の約三分の一に當つてゐる

	耕地（千畝）	農家（千戸）耕地（畝）
河北	一、三二三、三四二	一、八三五、三四
山東	一、三二三、三四二	一、八三五、三四
山西	四、三五三、三四二	一、八三五、三四
察哈爾	一、三五三、三四二	一、八三五、三四
綏遠	一、三五三、三四二	一、八三五、三四
合計	三、三二三、三四二	一、八三五、三四

（但し綏は關係の一八〇地）

次に北支の主要農産物は米、小麥、大麥、高粱、玉蜀黍、大豆、棉花、落花生等で、米は河北、山東、山西の三省が主産地、五省全體では二四、六五八千斤の移入米を必要としてゐる

小麥の五省年產額は二、二四六、〇〇〇千斤で、全支產額の三割に近く、關東の日常食糧米は北支產額の百萬六分、八十億斤といい大麥は關東に次ぐ多く、北支產額の六割、反當收穫はブラジルの七十五斤に次ぐ多收穫國である、北支棉の利用は今後二億の關東人口を繼ぐであらう

豚產は山東牛で、我國にも有名な程、牛の飼養が盛んで、河北、山東、山西三省の飼養頭數は牛二、〇九五千頭（對全支比二%）羊八、二四〇千頭（同一九%）豚一六、六一六千頭（同五〇%）となつてゐる、最後に水產では總の生產が注目され、海鼈（すつぽん）、蝦、蛤蜊の點も多く、青島附近の山東饅頭（蝦）はソーダー菓の原料として我國に輸入されてゐる

一千五百萬圓の大產業に仕立たい

合同風梨 小林支配人談

原料を 安く買收するだけなら誰にも出來ます 然しこれでは永續きがせぬ 原は安く買つても結局高價な農民の犧牲に落ちる並ばない 打合會

合同風梨の支配人小林五郎氏は今回關東軍から二千萬圓の支拂を受けたにつき同社時來の抱負を左の如く語つた

會社の設立地元の合同で仕事をするといふのは實に意義のあることです

東京で 仕事をするのは 此の會社の現狀からすればまだ早過ぎるともいへます、暫く東京出張所を設けたのは時期尚早の感があります。併し五三年前までの歷史的で、此の點からも協調らしい關係を結び出來るといふので東京出張所を設けた譯ですが、一方地元合同の生產力に伴はず。當面最も必要なものは資金に有ることで、これを如何にして調達するかといふ點に就いては、今日の經濟狀態では容易ならぬ事情にあります、併し、これ迄の如く單に原料を買ひ集めるだけなら誰にも出來ます、それでは永續きがせぬ。原は安く買つても結局高價な農民の犧牲に落ちる並ばない、打合會

注文も 際限なく 殺到

此の會社の現狀からすればまだ早過ぎるともいへます、暫く東京出張所を設けたのは時期尚早の感があります。併し五三年前までの歷史的で、此の點からも協調らしい關係を結び出來るといふので東京出張所を設けた譯ですが、一方地元合同の生產力に伴はず。當面最も必要なものは資金に有ることで、これを如何にして調達するかといふ點に就いては、今日の經濟狀態では容易ならぬ事情にあります、併し、これ迄の如く單に原料を買ひ集めるだけなら誰にも出來ます、それでは永續きがせぬ。原は安く買つても結局高價な農民の犧牲に落ちる並ばない、打合會

東京で 仕事をするのは 此の會社の現狀からすればまだ早過ぎるともいへます、暫く東京出張所を設けたのは時期尚早の感があります。併し五三年前までの歷史的で、此の點からも協調らしい關係を結び出來るといふので東京出張所を設けた譯ですが、一方地元合同の生產力に伴はず。當面最も必要なものは資金に有ることで、これを如何にして調達するかといふ點に就いては、今日の經濟狀態では容易ならぬ事情にあります、併し、これ迄の如く單に原料を買ひ集めるだけなら誰にも出來ます、それでは永續きがせぬ。原は安く買つても結局高價な農民の犧牲に落ちる並ばない、打合會

注文も 際限なく 殺到

此の會社の現狀からすればまだ早過ぎるともいへます、暫く東京出張所を設けたのは時期尚早の感があります。併し五三年前までの歷史的で、此の點からも協調らしい關係を結び出來るといふので東京出張所を設けた譯ですが、一方地元合同の生產力に伴はず。當面最も必要なものは資金に有ることで、これを如何にして調達するかといふ點に就いては、今日の經濟狀態では容易ならぬ事情にあります、併し、これ迄の如く單に原料を買ひ集めるだけなら誰にも出來ます、それでは永續きがせぬ。原は安く買つても結局高價な農民の犧牲に落ちる並ばない、打合會

實施期迫る 米の石抜檢查

合格率は非常に悪い 支那よりの 輸入激減

爲替管理進行のため

米穀無制限であつた支那よりの輸入激減は、米穀檢查の實施期迫る折柄、內地米作者に取つて大福音であるが、いま、北支全體の耕地面積に對する比率を見ると次表の如くで、耕地の九割以上は棉で占め耕地全體では支那全耕地面積の約三分の一に當つてゐる

	耕地（千畝）	農家（千戸）耕地（畝）
河北	一、三二三、三四二	一、八三五、三四
山東	一、三二三、三四二	一、八三五、三四
山西	四、三五三、三四二	一、八三五、三四
察哈爾	一、三五三、三四二	一、八三五、三四
綏遠	一、三五三、三四二	一、八三五、三四
合計	三、三二三、三四二	一、八三五、三四

（但し綏は關係の一八〇地）

次に北支の主要農產物は米、小麥、大麥、高粱、玉蜀黍、大豆、棉花、落花生等で、米は河北、山東、山西の三省が主產地、五省全體では二四、六五八千斤の移入米を必要としてゐる

小麥の五省年產額は二、二四六、〇〇〇千斤で、全支產額の三割に近く、關東の日常食糧米は北支產額の百萬六分、八十億斤といい大豆は關東に次ぐ多く、北支產額の六割、反當收穫はブラジルの七十五斤に次ぐ多收穫國である、北支棉の利用は今後二億の關東人口を繼ぐであらう

豚產は山東牛で、我國にも有名な程、牛の飼養が盛んで、河北、山東、山西三省の飼養頭數は牛二、〇九五千頭（對全支比二%）羊八、二四〇千頭（同一九%）豚一六、六一六千頭（同五〇%）となつてゐる、最後に水產では總の生產が注目され、海鼈（すつぽん）、蝦、蛤蜊の點も多く、青島附近の山東饅頭（蝦）はソーダー菓の原料として我國に輸入されてゐる

米穀檢查所 台北出張所 管內大稻埕、松山、士林各驛の檢查所に於て七、八の二ケ月に亙り臨んだ右檢查は最高六大名の內七月分の合格率は最高六割六分最低零で一升の砂石は最多五十五粒である、八月分の合格率は最高六割五分、最低零で一升の砂石は最多百六粒で一升に付十粒以下は合格であるから絕たならば殆ど合格であるが最低の零は一升に付十粒以上の砂石が混入してゐるもの、即ち一升の內容積の三分の一が砂石であるといふ事になる、從つて實際